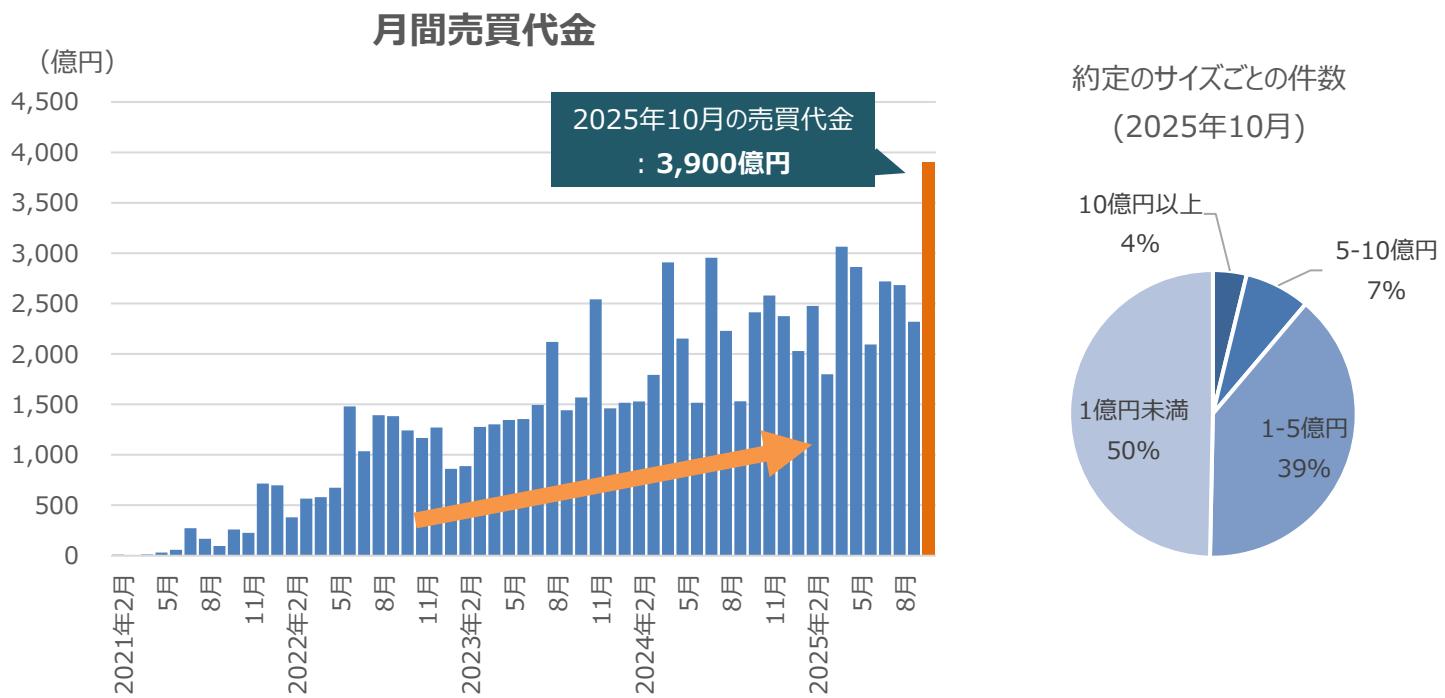


各 位

株式会社東京証券取引所

CONNEQTORの月間売買代金が3,900億円を突破し過去最高を記録

株式会社東京証券取引所(以下「東証」)は、ETF市場の流動性向上を目指してRFQ(Request For Quote)プラットフォーム、CONNEQTORのサービスを2021年2月より提供しております。この度、2025年10月において、CONNEQTOR経由のETF月間売買代金が3,900億円(1日平均売買代金:177億円、前年同月比162%増)となり、過去最高を更新しましたので、お知らせします。



CONNEQTORでは、投資家の皆様にETFを「より早く」、「より安く」取引できる環境を提供するため、新機能の開発や既存機能の改善など様々なアップデートを行ってきました。特に直近では、機関投資家が注文・執行管理・取引を行うために利用しているシステムやサービス¹とCONNEQTORとをシステム的に直接接続して、投資家側のシステムから直接CONNEQTORを利用するケースが増加しています。これにより、海外機関投資家を含む幅広い投資家が、多様な形態で利用することが可能となり、大口取引から比較的小口の取引まで、様々な執行シーンでCONNEQTORをご利用いただけるようになっています。

¹ 参考にも記載のとおり、機関投資家が注文・執行の管理に利用している各システムのほか、電子取引プラットフォームであるTradewebとも接続しています。

2025年10月末時点では、CONNEQTORは、金融機関を中心とする300社以上の国内外の機関投資家に利用されています。もともと利用が多かった地域金融機関に加え、運用会社・保険会社等の大手金融機関による利用が本格化したことで、売買代金が急増しました。また、海外投資家による利用も開始・拡大しており、今後の更なる利用の拡大が期待されます。

東証は今後も引き続きETF投資者の皆様が、もっと早く、もっと安くETFを取引可能な環境を実現できるよう、機能の改善や、関係する機関との協力を進めてまいります。

(参考)CONNEQTORの利用方法

(1) 投資家が自分で操作 : 直接利用	(2) 電話で利用 : 代理利用 (間接利用)	(3) 投資家の利用システムから発注 : システム直結								
GUI  インターネットが使えるPCを用意し、ブラウザで利用	電話  投資家は証券会社に電話 証券会社のトレーダーが 投資家の代理で CONNEQTORを操作	OMS/EMS等の投資家の利用システム  普段、投資家が注文・執行の管理に利用しているシステムを直結して利用 (現在の対象システム) <table border="1"><tr><td>NRI SBA</td><td>Broadridge Xilinx</td><td>Virtu Triton</td><td>Tradeweb</td></tr><tr><td>LSEG/XNET T-Wave</td><td>Bloomberg EMSX</td><td></td><td></td></tr></table>	NRI SBA	Broadridge Xilinx	Virtu Triton	Tradeweb	LSEG/XNET T-Wave	Bloomberg EMSX		
NRI SBA	Broadridge Xilinx	Virtu Triton	Tradeweb							
LSEG/XNET T-Wave	Bloomberg EMSX									

以上

【本件に関するお問合せ先】

株式会社東京証券取引所 株式部
03-3666-0141 (代表)
ask-conneqtor@jpx.co.jp